

# 聖書の読み方

神のみことばを聞く習慣を身に付ける

信仰に生きるレッスン

信徒訓練シリーズ

Living in Faith Discipleship Series

## 聖書の読み方 神のことばを聞く習慣を身に付ける

この本は『バイブルハンドブック』（バイブルティーチングシリーズ BTS）をもとに改変されています。

原作はウィスコンシン福音ルーテル教団 WELS の特別伝道グループ Special Ministries の指導のもと作成されました。Copyright © 2009

## 信仰に生きるレッスン 使徒訓練シリーズ 2018

本文はウィスコンシン福音ルーテル教団の多言語出版委員会（MLP）によって改変されています。

表紙およびすべての挿絵の作者 アリー・リョー  
アリー・リョーによる挿絵についての著作権は、すべて多言語出版委員会およびアリー・リョーに帰します。

すべての御言葉は、新改訳聖書第3版から引用されています。

東京あがないルーテル福音キリスト教会 [tokyoganai.com](http://tokyoganai.com)

日本多言語出版委員会 MLP Japan

アジア多言語出版委員会  
Multi-Language Publications – ASIA  
Suite B, 11/F, Chun Hoi Commercial Building  
688 Shanghai Street, Mongkok  
Kowloon, Hong Kong  
[AsiaMLP@yahoo.com](mailto:AsiaMLP@yahoo.com) • (852) 2190 6211

# 目次

## はじめに

第1章：原典について知りましょう

第2章：迷子にならない読み方

第3章：読書プランを始めましょう

第4章：デボーションをする生活

## 付録

A. 聖書の要約

B. イエスを中心とした読書プラン

C. 解釈の基本ルール

# はじめに

あなたは、聖書を読むのは難しそうだと感じていませんか。そんなあなたも、聖書の成り立ちと内容を学べば、聖書を読むことへの抵抗感が少し減るかもしれません。

この本は、そんなあなたのために書かれた本です。この本は、あなたが聖書の内容を理解するのをお手伝いするために書かれました。ですから、この本があなたの役に立てばとても嬉しいです。

しかし、聖書を理解するためには必ずこの本が必要という訳ではありません。聖書そのまま読めば、神が、その御言葉みことばの中から語りかけてくださいます。ですから、神の御力に満ちた真理が書かれた聖書そのものをあなたが読むようになることが、私たちにとって、もっとも嬉しいことなのです。

この本には次の項目が含まれます。

## 質問

この本の最初と、中間と、最後には質問があります。もし一人で学んでいる場合は質問の答えを1人で考えてみてください。もしグループで学んでいる場合は、この質問を使って話し合いをしましょう。1人ひとりが安心して質問できるような雰囲気を作り、それぞれの参加者が各自新たな発見をし、成長できるように工夫しましょう。自分の気づきや学んだことを日記やノートに書いておくのもいいでしょう。

## もっと深く学ぶ

本文の横には、もっと深く学びたい人のための聖書の参考箇所が書かれています。（聖書や聖書アプリを開いて参照してください。）

## 次のステップ

各章で、聖書の教える真理を自分の人生に当てはめて考えた後は、必ず次のステップを考えてから、前に進みましょう。

あなたが聖書の真理を発見する旅の上に、神の豊かな祝福がありますように。

# 第1章

## 原文について知りましょう

この世には数えきれないほどの本が存在します。ある本は人を楽しませる目的で書かれ、またある本は、人が生きる上で役立つことを教えるために書かれました。世界にある図書館には何千冊という本が所蔵されています。

1. あなたのお気に入りの本は何ですか？

世界には「聖なる本」や「聖典」と呼ばれる本が多く存在しますが、その中でも聖書は別格です。聖書のように特別な本は他に存在しません。これまでに、世界で50億冊もの聖書が出版され、2800以上の言語に翻訳されて人々に読まれ続けています。聖書がこのように広く読まれているのはなぜでしょうか？この本では、聖書の持つ魅力について探り、聖書の読み方を紹介していきます。

### 聖書は特別な本です

聖書は何千年もの間、幾つもの文化を経て書き残された書物です。多くの人が、命の危険を顧みずに聖書を翻訳してきました。また、多くの人が命をかけて聖書を読み、人々と分かち合ってきました。長い間、聖書は多くの迫害を受けてきたにも関わらず、世界中の人々に必要とされ続けました。

**聖書はラブストーリーや悲劇、ヒーローや悪党たち、歴史や詩であふれています。**

---

**The Bible is filled with love stories and tragedies, heroes and villains, history and poetry.**

---

また、人間の苦しみと勝利についても書かれています。この世の日々の問題を明らかにし、さらに神のおられる霊の世界の神秘を解き明かします。

多くの宗教がこの宇宙に君

信仰の  
ヒーローたち  
へブル<sup>11</sup>

臨する究極の存在を見つけ出そうと試みます。また、この世の難を逃れて利益を得たいがために、霊的な世界について説明しようとする。しかし、私たちの周りを見くら見まわしても神を見出すことも、霊的な世界を見つかることもできません。私たちは、自分たちの力で、神とその御心について知ることができないからです。神だけが、ご自身のことを明らかにすることができます。神は、人間の目では見ることができない霊的な事柄を、すべて聖書の中で明らかにしています。

---

**Only God can tell us  
about himself and what  
we cannot see**

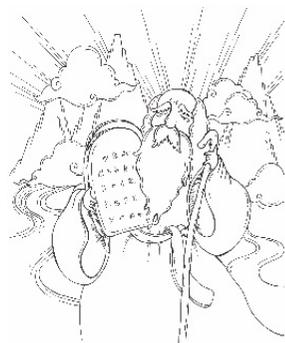
---

聖書は、この世の悪と苦しみがどのようにして生まれたのかを、私たちに知らせています。また、神がどのように、その悪から私たち

を救う計画を立て、確実に実行したかについても教えています。聖書の教えには「この世界はどのようにして生まれたのか」「なぜ私はここに存在するのか」「死んだ後、私はどうなるのか」という人生最大の疑問に対する答えも含まれます。

聖書は決して変わることはない、人間の根源的な問題について書かれた本です。それは、どんな文化にも、どんな状況にある人にも当てはまる、たった一つの解決策を提示しています。その教えは、あらゆる文化において何千年にもわたり数えきれないほどの人々の人生を変えてきました。

2. 人々が答えを知りたいと、霊的な世界に関する質問をいくつか挙げ、それについて話し合ってください。



たったひとりの作者

聖書は様々な人の手によって書き記されました。農夫、王様、漁師、取税人、祭司、医者、音楽家などを含めた30人以上の男たちが、66冊の書物を記録しました。全体が完成するには1500年以上もかかりました。これほど長い時間が経ってもなお、聖書は信頼に値する、真実の本であり続けました。

預言者や使徒も含む様々な人間が聖書を書き記したとはいえ、本当の意味で**聖書を書いた著者は、神おひとりです。**聖書にはこのように書か

---

**All the Bible's books  
have one Author –  
God Himself**

---

れています。「聖書はすべて、神の靈感によるもの」(テモテの手紙第二3章16節)であり、「預言は決して

人間の意志によってもたらされたのではなく、聖霊に動かされた人たちが、神からのことばを語った」(ペテロの手紙第二1章21節)のです。

聖書は、聖霊に動かされて人々によって書かれました。

**「聖霊に動かされた」とは、神によって動かされた、という意味です。**つまり神が人々の心に言葉を送り、人々がそれを書きとめたということです。聖霊によって動か

された人々によって書かれた本なので、聖書はすべて、まことの神の言葉であることが分かります。神は、聖霊に動かされた人々が、すべての出来事を忠実に記録できるよう、細かく配慮しています。

---

**“Inspired” means  
that every work in  
the Bible was  
breathed by God**

---

前の段落で述べた「聖書はすべて、まことの神の言葉である」という部分は非常に大切です。時々「聖書には、神の言葉が所々に書かれているに過ぎない」と言う人がいます。しかし、聖書は、ある限られた部分に神の言葉が書かれているわけではありません。聖書全体が神ご自身の言葉なのです。神の御言葉(みことば)である**聖書は、人間の信仰と命に関する究極の権威を持っています。**

聖書の内容は、  
御霊によって  
啓示された

1コリント

2:4-13

2ペテロ

1:19-21

ガラテヤ

1:11-12

1テサロニケ 2:13

イエスは、旧約聖書に書かれたことを、本当に起こった出来事として語った

マタイ 19:4-6

ルカ 17:26-27

マタイ 12:40

す。それは真実と嘘、正義と悪の揺るがぬ判断基準となります。

3. ここまでで学んだ大切な真理は何ですか？

---

**The Bible remains  
the final authority on  
faith and life**

---

## たったひとつの筋書き

聖書には、違う種類の話がたくさん書かれているように見えますが、それは、全体を貫く筋書きの細かい部分に過ぎません。つまり **聖書には、全体を貫くたったひとつの筋書きがある**のです。

---

**All the Bible's  
stories really make  
up one big story**

---

聖書全体を貫くこの大きな筋書きは、神が素晴らしく完璧な世界を創造したことから始まります。神の創造物は、神の愛と栄光を表しました。神

が人間を創造したのは、神を喜んで賛美し、生命の美しさを楽しむ者とするためでした。しかし、人間は神から背を向けて、神から受けた栄誉を自ら捨てる道を選びました。

神は、罪を犯した最初の人間アダムとエバに、救い主を送ることを約束しました。その後、世界は悪で満たされました。それで、神は世界に大洪水を起こしました。神の保護によって生き残ったのは、信仰深いノアとノアの家族だけでした。

ノアとノアの家族から、新しい人間の歴史が始まりました。しかし、数が増えるにしたがって、人々は再び神から離れていきました。その後、神はアブラハムを選び、アブラハムの子孫から救い主が生まれるように計画しま

(付録には、もう少し長い聖書の要約が書かれています。)

した。こうしてアブラハムは、神の民イスラエル人の祖先となりました。

神は人々に士師や祭司、王や預言者を遣わしました。しかし、この中の誰1人として、人間の本当の問題を解決できた者はいませんでした。それは、彼ら自身も罪を持った人間だったからです。救い主が生まれるまでのこの期間、**300人以上もの預言者が、救い主がこの世に来ることについて預言し、それはすべて成就しました。**神の定めた時がやってくると、聖書に書かれたすべての預言を

---

**Over 300 prophecies  
in the Old Testament  
were fulfilled in the  
person of Jesus**

---

成就する救い主が、ベツレヘムの町で生まれたのです。その救い主こそがイエス・キリストです。

イエスは、まことの神について人々に教え、人々の病を奇

跡的な方法で癒しました。しかし、宗教指導者たちは、何の罪も犯していないイエスを犯罪者のように十字架にはりつけにしました。イエスの死は、全人類を救うという、歴史上もっとも重要な出来事となりました。

十字架にかかって3日後に、イエスはよみがえりました。そして神の正義が果たされ、神と神を信じる者との間に平和がもたらされました。そしてイエスの救いの復活を信じる人々に永遠の命が与えられることが示されたのです。

聖書に書かれたすべての内容は、すべてイエスとその御業について伝えています。「イエスについては、預言者たちもみな、この方を信じる者はだれでも、その名によって罪の赦しが受けられる、とあかししています」（使徒の働き 10章 43節）と書かれているように、イエスは、イエスを信じる人すべての罪を完全に赦し、神の子とすることを約束しています。これは、神が私たちに無償で与えた賜物です。

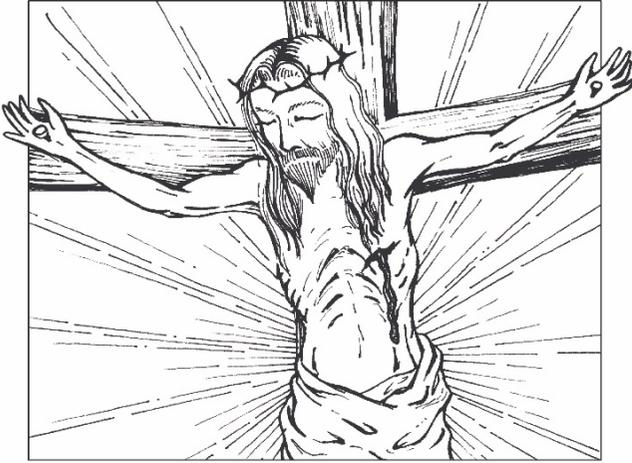
4. 聖書の中心点は何ですか？自分の言葉で要約し、周りの人に伝えてください。

聖書全体が、  
イエスについて  
指し示して  
いる

ルカ 24:25-27

I コリント

15:1-4



## 大切な目的はひとつだけ

聖書を読むとたくさんの良いことが得られます。実際、多くの方が、聖書から多種多様なことを学び取っています。しかしそれ以上に、聖書がたったひとつの大切な目的のために書かれた本であると理解することが、何よりも重要です。

その目的とは、この世での生活を快適にすることではありません。聖書が書かれた、たったひとつの大切な目的は、あなたに永遠の命を与えることです。永遠の命は、この世の一時的な命よりもはるかに重要です。私たちは、イエスを信じることによって、まことの永遠の命を得ることができます。イエスの導きに従わなければ、この世の終わりの日に、すべての人間が直面する神の裁きに耐えられる人は誰もいない、とイエスは言っています。そればかりか、イエスの導きがなければ、この世がもたらす苦難にさえも耐えることができない、と聖書は伝えています。

神の御言葉が  
あなた信仰の  
土台です  
詩篇 119:89-93  
使徒 20:32

聖書には様々な話や教えが書かれています。聖書のたったひとつの目的は、私たちがこの世でも、死んだ後にも、神の豊かな祝福の中で生きられるようにすることです。聖書にはこう書かれています。「これらのことが書

---

**The Bible has one main purpose – to lead us to faith in Jesus so that we might live in the blessings of God**

---

かれたのは、イエスが神の子キリストであることを、あなたがたが信じるため、また、あなたがたが信じて、イエスの御名によっていのちを得るためである。」（ヨハネの福音書 20 章 31 節）

聖書は、この世で生き抜くために必要なことも教えています。「聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです」（テモテへの手紙第二 3 章 16-17 節）。その教えを理解し、イエスを信頼する時、私たちには喜び、平安、希望、力が与えられます。

5. 上記の御言葉を、それぞれ注意深く読みましょう。聖書を読むことは、私たちにとって、どのように役に立つと書かれていますか。

## 私たちの生活との関係を考える

1. 世間で「聖典」と呼ばれている本の特徴を、それぞれ比べてみましょう。聖書はこのような本と、どこが違うか話し合ってください。
  
2. 「聖書はすべて、まことの神の御言葉だ」と理解できた時に、

あなたの聖書に対する考え方や、聖書の読み方がどのように変化するか話し合しましょう。

3. 聖書が書かれたたった一つの目的が何だったかを振り返りましょう。それを、他の宗教のメッセージと比べた時、どのような違いがありますか？この違いは、あなたにどんな影響を与えますか？
4. この章の中で、あなたにとって一番印象深かったことを一つ挙げてください。
5. その印象深かった内容に基づいて、神に祈りを捧げてください。

## 次のステップ

覚えましょう。

この章の中で一番印象深かった聖句を覚えましょう。

読みましょう。

聖書を開き、ページをパラパラとめくってみましょう。聖書に親しむために、聖書の各書物の名前を書きだしてみましょう。  
(聖書を開くのを簡単にするために、書物の順番を覚えるのもいいでしょう。)

日常生活に生かしましょう。

この一週間、この章で学んだ内容に基づいた信仰生活を送るにはどうすればいいか、話し合しましょう。

伝えましょう。

この章で学んだ内容を、誰に知ってもらいたいと思いましたか？いつ、どこで、誰に、どのように伝えるか決めましょう。  
(この本をたくさん活用してください。)

第2章に進み、聖書をより分かりやすく読むための「地図」を学びましょう。

## 第2章

# 迷子にならない読み方

あなたは道に迷ったことはありますか？都会や、広い公園や、森の中で道に迷い、怖くなったり、憂鬱になったりしたことはありませんか？そんな気持ちは、休日や旅行の楽しい気分を台無しにしたことでしょ。そのせいで、目的地までたどり着けなかったことはありませんか？

1. あなたが道に迷った時のことを思い出して、状況を説明してください。最終的に、どうやって目的地に着くことができましたか？

聖書を通読しようとする時、道が分からなくなり、迷子になったような気持ちになるかもしれません。聖書通読は、旅に少し似ています。私たちが旅をする時、地図があるととても助けられます。聖書にも地図のようなものがあれば、読むのがずっと楽になるはず。この章では、神が聖書全体を通して何を言っておられるかを理解できるように、聖書の大枠を説明したいと思います。そうすれば、あなたも行きたい所に早く到着できるはず。では早速始めましょう。

## 多くの本がひとまとまりになった聖書

聖書をただの「本」と呼ぶのはふさわしくありません。聖書はあまりにも特別なので、「本の中の本」と言った方がしっくりきます。聖書は、世の中のどんな本よりもずっと特別なメッセージを伝える本なのです。

聖書を「本の中の本」と呼ぶには、もう一つ理由があります。それは、聖書が実際に様々な種類の本を集めた図書館のようだからです。神は、30人以上もの人間を通して、様々な種類の本を書き記しました。



聖書のすべての本を合わせると 66 冊にのぼります。これらはなんと、15 世紀（紀元前 1400 年～紀元 100 年）もの長い年月をかけて書かれました。

---

**There are 66 books inside the Bible – written over more than 15 centuries!**

---

聖書は単に歴史の記録が書かれた本、というわけではありません。聖書には物語も含まれています。それで聖書は、書かれた時期にしたがって、時系列にまとめられました。

イエスが人間の姿で誕生したことが、聖書の中でもっとも重要な出来事です。この偉大な出来事を軸にして、聖書は前編と後編に分けられています。そして聖書の前半

---

**The birth of Jesus into this world brings us to the heart of the Bible**

---

部分は「旧約」、後半部分は「新約」と呼ばれています。

旧約聖書に含まれる 39 冊の書物は、イエスの降誕以前に書かれました。新約聖書に含まれる 27 冊の書物は、イエスの降誕後に書かれました。この聖書の 2 つの部分は、密接につながっています。

---

**The Old Testament was written in Hebrew**

---

神は、それぞれの作者を導いて、聖書を日常の言葉で書かせました。それはすべての人々が神の考えを理解できるようにするためです。旧約聖書はヘブル語で書かれましたが、それはイエスが生まれるまでの間、ヘブル語が神に選ばれた民（イスラエル人）が話す言葉だったからです。この民は神の約束を覚え、信じ続けるように選ばれました。そして神はこの民族から救い主イエスを誕生させました。新約の時代になると、イエ

---

**The New Testament was written in Greek**

---

スは弟子たちに世界中に出て行き、福音を宣べ伝える使命を与えました。この時、弟子たちが福音を宣べ伝えた相手のほとんど

どは、ギリシャ語を話していました。それで**新約聖書はギリシャ語で書かれたのです。**さらに言うと、使徒たちが聖書を書く際に使ったギリシャ語は、学者たちが話すような高度なレベルのものではなく、庶民の日常会話に近いものでした。神はそれほどまでに、ご自身のメッセージを多くの人が理解することを望んだのです。

付録には、もう少し長い聖書の要約が書かれています。

現代の社会では、ほとんどの人が聖書に書かれているヘブル語もギリシャ語も話すことができません。ですから、多くの忠実なクリスチャンが翻訳を試み、それぞれの言語で書かれた聖書が作られたのです。

## 旧約聖書 (39 冊)

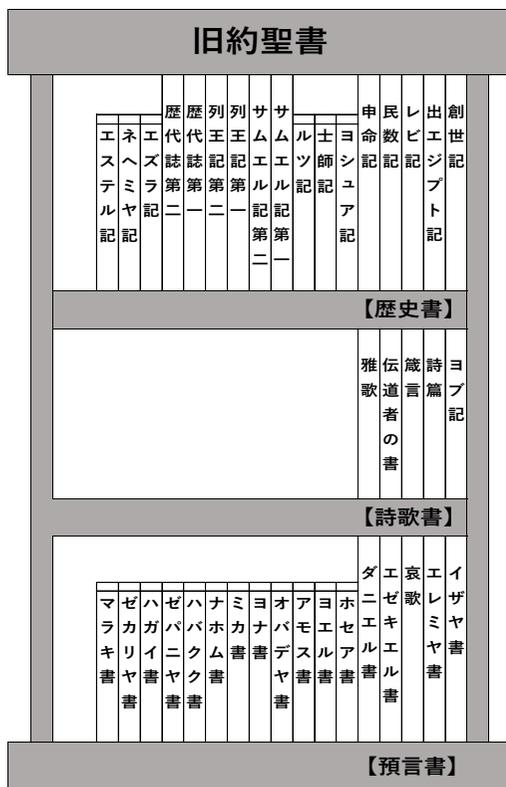
図書館にある2つの本棚に本が並んでいる様子を思い浮かべると、聖書の配列がどのようになっているかが分かります。

1つ目の本棚の上段には、旧約聖書の17冊（創世記からエステル記）が並びます。**これらは、過去に起きた大切な出来事を記録した「歴史書」**です。

**These are all history books telling us about main events from the past**

中段には、ヨブ記から雅歌までの5冊が並

びます。これらは詩で構成された「<sup>しいか</sup>詩歌書」で、書き手の知恵や苦悩、また神への賛美などが書かれています。下段には、「預言書」と呼ばれる旧約聖書の残り17冊が並びます（イザヤ書からマラキ書）。



預言者はイエスの生まれる前に生きた人々です。預言者の中には、将来のイエスの誕生の様子を神に知らされ、それを書き記した者もいました。

旧約聖書は、およそ 4000 年もの歴史を網羅しています。

旧約聖書の主な書き手は、モーセとその他の預言者たちです。モーセは最初の 5 冊の本を書きました（創世記、出エジプト記、レビ記、民数記、申命記）。これらの本は、「モーセの 5 書」と呼ばれます。旧約聖書の他の書き手には、詩篇を書いたダビデ王や、箴言や伝道者の書などの「知恵の書」を書いたソロモン王などがいます。また、イザヤ、エレミヤ、エゼキエル、ダニエルなどの預言者も旧約聖書を書きました。

**The Old Testament books cover about 4,000 years of history**

聖書は、人間が決して自分では知ることのできない、神の神秘を明らかにする

ローマ 16:25-27  
1 コリント 4:4-14  
エペソ 3:2-9

## 新約聖書 (27 冊)

新約聖書は、歴史上もっとも重要な 100 年間に起こった出来事に焦点を当てて書かれています。新約聖書も本棚で考えると、3 段に分けられます。

上段には、4 冊の歴史書が並びます

**Gospel means “good news”**

（マタイの福音書、マルコの福音書、ルカの福音書、ヨハネの福音書）。これは「4福音書」とも呼ばれます。「福音（ふくいん）」とは良い知らせという意味です。聖書に書かれた福音は、まるで小さ

## 新約聖書

使徒の御き												マタイの福音書	マルコの福音書	ルカの福音書	ヨハネの福音書			
【歴史書】																		
ユダの手紙	ヨハネの手紙第三	ヨハネの手紙第二	ペテロの手紙第二	ペテロの手紙第一	ヤコブの手紙	ヘブル人への手紙	ピロモンの手紙	テモテへの手紙第二	テモテへの手紙第一	テサロニケ人への手紙第二	テサロニケ人への手紙第一	コロサイ人への手紙	エペソ人への手紙	リビヤ人への手紙	ガラテヤ人への手紙	コリント人への手紙第二	コリント人への手紙第一	ローマ人への手紙
【使徒書（手紙）】																		
ヨハネの黙示録																		
【預言書】																		

な宝石のかけらのように、聖書全体に散りばめられています。特に、この4つの福音書は、まるでダイヤモンドが豊富に埋まっている鉱山のようなようです。なぜかと言うと、そこには聖書が伝えるもっとも大切なメッセージである、イエスの生涯と死、そして復活について書かれているからです。

新約聖書の5番目の書物は、使徒の働きと言います。使徒とは、神の御言葉を伝えるためにイエスご自身が選んだ弟子のことです。使徒の働きには、使徒たちの伝道活動と初代キリスト教会についての話が書かれています。

この後に続くのは、個人や教会に送られた手紙です。これらの手紙は、イエスの人生とその教えについて説明するもので、クリスチャンの信仰と生活を導くために書かれました。新約聖書には、このような手紙が合わせて21通あります。（ローマ人への手紙からユダの手紙）

新約聖書の最後には、預言書である黙示録が配置されています。黙示録はまるで、素晴らしい絵画で埋め尽くされた部屋のようなようです。これらの絵画一枚一枚には、聖書がこれまでに伝えてきた出来事が描かれています。つまり、神が悪魔とその手下たちに完全に勝利したことや、神と共にいつまでも幸せに暮らすことのできる天国の素晴らしさなどを垣間見させてくれるのです。

新約聖書は、イエスがこの世で生活していた時の弟子たちが主に書きました。（例えばマタイ、ペテロ、ヨハネ

---

**The New Testament  
was written mainly by  
those who had  
followed Jesus during  
his life on earth**

---

です。）その他の書き手としてあげられるルカは、イエスの目撃証言をもとにして書き記しています。パウロは、伝道旅行をした際に始まった初代教会を励ますために、多くの手紙を書き送りました。最後の書物である黙示録は、イエスが使徒ヨハネに見せた幻をもとに書かれています。イエスは、神のおられる世界をヨハネに見せました。その中には神の栄光の世界

聖書は廃棄  
されるもの  
ではない

ヨハネ

10:34-37

と、サタンに対する圧倒的な勝利の御計画が示されています。私たちも、この書物を読むことで、神の御国の素晴らしさを味わうことができます。

聖書が書かれてから長い年月が経つにつれ、これらの本は、章や節に分けられ、特定の箇所を見つけやすく編集されてきました。その結果、本の名前、章、そして節の順に読み上げることで、特定の聖句を簡単に見つけることができるようになりました。（省略して記載する場合は本の名前の前半を書き、章を表す数字の後にセミコロン「:」を付け、その後に節の数字をつけます。例えばヨハネの福音書3章16節は、ヨハネ3:16と略されま

2. ここまでの内容を振り返りましょう。旧約聖書と新約聖書について、あなたが新たに学んだことは何ですか？

## ふたつの教えと、ひとつの大事なメッセージ

聖書には、2本の柱ともいえる主な教えがあります。それは「<sup>りっぽう</sup>律法」と「<sup>ふくいん</sup>福音」と呼ばれるものです。聖書が私たちに最も教えたいことこそ、律法と福音なのです。

1本目の柱である律法の中で神は、私たちがどのように神に対する敬意を表し、神に栄光を帰すことができるかを明らかにしています。しかし、**律法はまるで鏡のように私たちの内面を映し出し、私たちがいかに罪深いかを示します。**

聖書に「すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず」（ローマ人への手紙3章23節）と書かれている通り、私たちは神の義の基準を満たすこ

律法と福音の  
違いを知る

出エジプト

34:5-6

ローマ 3:20-24

ガラテヤ 3:10-14

イザヤ 53:4-6

2コリント 5:21

---

**Like a mirror, the law shows us how unworthy we are because of our sinful lives**

---

とができません。それなので私たちは本来、神から永遠に隔離された状態、つまり死を迎える存在となるはずでした。これは「罪から来る報酬は死です」（ローマ人への手紙 6 章 23 節）と書かれている通りです。

2 本目の柱である福音は、良い知らせという意味です。これは、イエスが私たちの罪を取り除いたことを示しています。神の子イエスは、神としての栄光を捨てて、私たち罪人の身代わりとなって神の前に立ち、私たちが受けるはずの罰をすべて受けました。

---

**The Gospel means “good news” and points us to Jesus who saves us.**

---

またエスは、神の律法を完全に守りました。私たちの誰にもできなかつたことを代わりに行な

ったほどに、イエスは私たちのことを愛しました。十字架の上で死ぬことで、イエスは私たちの罪の罰を代わりに背負い、神の有罪判決をその身に受けました。それは、イエスの犠牲の死と復活を信じた人が神に赦されるためです。

イエスの行ないは、神の栄光を表しました。つまりイエスは、私たちの恥を取り除き、神と人間との親しい関係を取り戻したのです。「ですから、信仰によって義と認められた私たちは、私たちの主イエス・キリストによって、神との平和を持っています」（ローマ人への手紙 5 章 1 節）。

私たちがイエスを信じることによって、神は私たちを、神に愛された大切な子どもとして受け入れます。そして、いつの日か神と共にいつまでも幸せに天国で暮らせるようにしたのです。（ヨハネの手紙第一 3 章 1-3 節）これこそが良い知らせ、つまり福音です。福音こそが聖書のもっとも大切なメッセージです。

キリスト教以外の宗教は、自分自身が正しい行ないをすることや、宗教的な儀式を行なうことが救われる方法だと教えています。しかし、聖書が教えることは違います。

神の子イエスは、罪をひとつも犯さない完全な生涯を送りました。私たちの犯した罪は、イエスの完全な生涯と十字架の死によってつぐなわれた、と聖書は教えています。このことによって、イエスを信じる人は神の前で正しい者とされ、天の御国に招き入れられます。そして、神と共に永遠に幸せに生きることができるのです。これが福音であり、神がすべての人間に伝えたいと強く願う、もっとも大切な知らせです。

3. 律法と福音の違いを説明してください。聖書の目的を果たす、それぞれの役割りは何でしょうか。

## 聖書を読み始めましょう

アウグスティヌスという昔の有名なクリスチャンは、ある時、次のように言いました。「**聖書は子どもが溺れないくらい浅く、大人が泳げるほど深い。**」これはつま

---

**The Bible is shallow  
enough for a child  
not to drown, yet  
deep enough for an  
elephant to swim.**

---

り、子どもでも聖書に書かれた物語や真理を理解することができる。そして、読み続けることで、もっと複雑なことを理解できるようになる、という意味です。

では、聖書を最初に読もうと思った時には、どこから読み始めればいいのか？ 1番良いのは、読みやすい本から始めることです。難しい本は後回しにしましょう。

ルカの福音書は始めるのにちょうど良いでしょう。この書を読めば、イエスの誕生と生涯、死と復活について比較的簡単に知ることができます。

---

### A good place to start is the book of Luke

---

次の章で、聖書を読む際のおすすめの方法をいくつか紹介します。しかし、これは魔法のような特別なメソッドということではありません。本当のコツは、ただ読み始める、ということしかありません。それは、思い立った時にすぐ旅に出るようなものです。聖書を読む旅に出れば、後悔するということはありません。

ルカは、イエスの目撃者の証言を記事にした

ルカ 1:1-4

## 私たちの生活との関係を考える

1. 聖書がどれだけ長い年月をかけて書かれたのか復習しましょう。そのことは、神のメッセージについて何を教えていますか？
2. 旧約聖書と新約聖書の違いを手短かに説明してください。この違いを理解することは、これから聖書を読む際にどのように役立ちますか？
3. 律法と福音の違いについて説明してください。この違いは、あなたの日常生活にどのような影響を与えますか？

4. この章の中で、あなたにとって一番印象深かったことを一つ挙げてください。

5. その印象深かった内容に基づいて、神に祈りを捧げてください。

## 次のステップ

覚えましょう。

この章の中で一番印象深かった聖句を覚えましょう。

読みましょう。

ルカの福音書を読み始めましょう。

日常生活に生かしましょう。

この一週間、この章で学んだ内容に基づいた信仰生活を送るにはどうすればいいか、話し合しましょう。

伝えましょう。

この章で学んだ内容を、誰に知ってもらいたいと思いましたか？いつ、どこで、誰に、どのように伝えるか決めましょう。  
(この本をたくさん活用してください。)

第3章に進み、あなたに一番ぴったりの方法で聖書を読むことを習慣にしましょう。

## 第3章

# 読書プランを始める

家族と離れて暮らしていると、孤独を感じる場合があります。そんな時、誰かが遊びに来たり、メールや手紙を送ってくれたりすると、気持ちや和らぎます。それは、誰かがあなたを気にかけてくれている証拠だからです。

1. あなたは普段どんな方法で人とコミュニケーションを取っていますか？例をいくつか挙げてください。

聖書を読むことは、神ご自身から受け取った手紙を読むようなものです。聖書を開くことは、神があなたを訪ねているようなものです。こうした神からの手紙や訪問は、神が私たちのことを気にかけていることを示しています。

### 読むことを楽しみましょう

この章では、聖書に書かれた言葉を深く掘り下げるのではなく、その大筋のメッセージを理解する読み方を紹介します。この時大切なのは、聖書の核となる物語や登場人物や教えを、大まかにつかむことです。

この読み方は、デボーションと呼ばれる読み方とは異なります。デボーションをする時には、聖書のある聖句やある箇所を深く理解できるように掘り下げ、それがあなたの生活にどのように応用できるかを考えます。デボーションでは、内容をゆっくりと読み進めて、それが心に根付くようにします。（このような読み方については次の章で詳しく説明します。）

魂の糧である  
御言葉

詩篇1

イザヤ55

デボーションのような読み方をする前に、まず聖書を普通の本のように読んで大筋をつかみましょう。そうすれば、人間の持つ問題と、神の解決策の意味が分かりはじめ、また聖書の登場人物と聖書のテーマも分かるようになります。そして聖書のすべての書物がどのように関わっているのかが分かってきます。さらに歴史の中で、神のご計画と約束が明らかにされてきた経緯にも気付けるようになります。

## 良い翻訳を選ぶ

聖書はもともと日本語で書かれていたのではありません。聖霊によって神の言葉を書き記すように動かされた人たちは、日本語以外を公用語とした国に住んでいました。

旧約聖書の原本は、イスラエル人とユダヤ人が話すヘブル語（時には、アラム語）で書かれました。新約聖書はギリシャ語で書かれました。英語が現代の世界基準の言語であるように、新約聖書が書かれた時代には、ギリシャ語は多くの国で話される言語だったのです。

しかし、今ではほとんどの人がこれらの言葉を理解できません。それで、多くの忠実なクリスチャンの翻訳家が聖書を様々な言語に翻訳しました。中には、聖書がすべての人に読んでもらえるようにと、話し言葉しかなかった言語から、文字を創り出した人もいます。

ですから、あなたが読んでいる日本語の聖書は、翻訳されたものです。聖書を読み始める時に最初にしていただきたいのは、聖書の原典にできる限り忠実で、なおかつ読みやすい訳を探すということです。多くのクリスチャンに認められているおすすめ日本語訳は新改訳です。しかし、言葉は時代とともに変わるので、新改訳聖書も年を追うごとに新しい版が出ています。

ダビデ王は、  
聖書を読むこと  
を最高の喜び  
とした

詩篇 19:7-15

詩篇 119:11-16

まとめると、次のどちらかの方法で聖書を選ぶことをおすすめします。

- a. 読みやすく、現代の言葉に対応していて、原典の意味を忠実に訳している聖書を探すこと。
- b. あなたの教会が主に使っている版を使うこと。  
(聖書を学ぶ仲間と同じ訳で読めば、聖書にいち早く親しむことができるでしょう。)

自分にとって一番良い聖書の訳を選んだら、読書プランに沿って通読することをおすすめします。その際はいつも同じ訳で読みましょう。色々な訳を読むことが役に立つ時もありますが、ひとつの訳に絞る方が、聖句を覚えやすくなります。

テクノロジーが進化している近年では、スマートフォンに聖書アプリを入れて利用するのもおすすめです。これを使うと、家だけでなく、外出先でも、いつでも手軽に聖書を読めるようになります。また聖書用のアプリを使うと、メモを好きなだけ書き込んだり、字の大きさを変えて読んだりすることが簡単にできます。

2. あなたはどの聖書を選びますか？その理由を教えてください。

## 読書プランを始めましょう

では、どこから読んだらいいのでしょうか。現在、たくさんの読書プランが用意されています。あなたの通っている教会が用意したプランや、無料の聖書アプリにアップロードされているプランなど、数多くの読書プランを日本語で読むことができるようになっています。それは聖書の本を最初から順に読んでいくものであったり、

御言葉を次世  
代に語り継ぐ

申命記

6:1-7

詩篇

145:1-12

「愛」や「結婚」や「お金」など、テーマに沿って御言葉を読むように組まれたプランであったりもします。

もしあなたが、ひとつのプランを選んでも長く読みつづけられなくても、決して自分を責めないでください。大事なのは、あきらめないことです。ひとつのプランに興味がわからずに読み続けられなかったら、あなたのニーズにぴったり合うプランに出会うまで探し続けましょう。

プランを選ぶ時には、あなた自身が置かれた状況を考えてみましょう。あなたは聖書の初心者ですか？それとも聖書をよく知っている人ですか？ここでの目標は、まず初めに聖書全体を読み通すことによって、聖書のメッセージの全体像をつかむことです。

もしあなたがキリスト教初心者であれば、新約聖書から始めるのが一番いいかもしれません。もしあなたが聖書をよく知っているなら、別のプランを使ってもいいでしょう。大切なのは、あなたが聖書を読み続けられるプランを選ぶことです。

この本の最後の付録 A、B、C は、ルカの福音書から始めるようになっています。ルカの福音書はイエスの誕生から始まり、イエスがどのような人生を送り、どのような伝道を行ない、どのように死んでよみがえったかが書かれています。その次は、使徒の働きに移り、救い主イエスの福音が教会の誕生と成長にどのような影響を与えたかを見ていくのが良いでしょう。

---

**A good place to start could be the book of Luke. Next move on to Acts.**

---

聖書について理解し、その本当の意味をつかむには、できるだけ沢山の御言葉を読むことが必要です。どうか、あなたに向けて書かれた聖書のメッセージを、真剣に心で受け

止めてください。聖書は、あなたに向けた神の愛であふ

れています。神が、どれだけあなたを愛しているか知りましょう。神はご自身の愛をあなたに知って欲しいと強く願っておられます。

御言葉を読むことで神への賛美と <sup>あこが</sup>憧れを自然に心に抱けるよう、神の導きを願いましょう。それと同時に、周りの人との関係を深める意識も持ってください。それは、神の愛を知ったあなたを通して、他の人たちも神の愛に気付くことができるためです。

あなたが聖書を読めば読むほど、内容がはっきりと理解できるようになります。ぜひ今日から、聖書の中の一冊を選んで読み始めましょう。まず毎日聖書を読む習慣を身に付けましょう。そしていつか最初から最後まで聖書を読み通しましょう。

この本の最後に、読書プランの例がのっています。

3. 読書プランをやり通すことの邪魔になるのは、どんなことでしょうか？それについて、あなたはどうか対処しますか？

## 定期的に読む時間を設けましょう

聖書を読むのを邪魔するものはたくさんあります。もしあなたに **聖書を読む習慣がないのなら、今日から始めましょう。** 1日5分から始めてみるといいかもしれません。

そしてそれが、神とあなたが個人的に会える特別な予約時間だと思って守るようにしましょう。

どの時間帯がいいでしょうか。朝起きてすぐの時間がいい人も

---

**If you haven't been  
in the habit of  
reading the Bible,  
begin today!**

---

聖書を読むためのプラン

付録を参照

神の御言葉は  
霊的な鎧  
(よろい)

エペソ 6:10-21

いるでしょうし、仕事へ向かう電車の中がいい人もいるでしょう。お昼休みがいい人もいるでしょうし、夜寝る前がいい人もいるはずです。自分に合った時間に聖書を読み続けることを大切にしてください。カレンダーや手帳に、聖書を読む予定を書き込んでみましょう。継続は力なりです。

もし1日や2日、読めなかった日があったとしても、自分を責めないでください。あきらめずに、自分に合う方法を見つけましょう。自分の弱さに落ち込んだり責めたりするのではなく、その時点から新たに読み始めましょう。

私たちが毎日聖書を読むのは、義務感からではありません。それは、大好きな神と会話をして過ごせる、楽しい時間だからです。聖書を読み続けると、自分をこの上なく愛してくれる神と過ごす時間が、どんなに嬉しく、楽しく、大切な時間なのかが分かるようになります。

4. あなたが聖書を読む時間の邪魔になるのは何だと思いますか？それをどうやって解決したらいいでしょうか？

## よくある質問

聖書を読み始めたばかりの時には、色々な問題が起きることがあります。よくある質問とその答えをこちらに書きます。

1. どのくらいの頻度で読んだらよいですか？「正しい読書量」はどのくらいですか？

聖書を読むことをプレッシャーに感じないようにしましょう。時々「聖書は毎日読むべきだ」とか、「聖書は毎日読まなければいけない」と言う人がいますが、鵜呑みにする必要はありません。神は確かに聖書の中で、あなたのためになることをたくさん書きました。

ですから聖書を読むことは私たちの益になることは確かです。しかし、聖書を毎日読まないこと自体が罪になることはありません。

中には聖書を1日に何度も読んでいます人がいますが、それはおそらく、長い月日をかけて身についた習慣です。読書プランを始めたばかりのあなたは、自分にとって無理のない方法で行いましょう。日々の生活の中で聖書プランをどうやって読むのが一番合っているかを考えたら、その頻度を増やしてみましょう。

毎日聖書を読むという目標を決めることは確かにいいことですが、3日坊主になってしまっただけでは意味がありません。聖書を読むことは、短距離走ではなく、マラソンのような長距離走だということを忘れないようにしてください。無理のない量を、無理のないペースで、コツコツと読むようにしましょう。そして慣れてきたら、はじめて、読む量を増やします。

重要なのは、  
御言葉に  
聞き従うこと  
マタイ  
7:21-29  
マタイ  
13:9-17  
マルコ 7:5-9

## 2. 読書プラン通りに読めないと、自分はダメだと思ったり、くじけそうになったりします。

最初に決めた通りに読めなくても、罪の意識を感じないでください。「もし予定どおりに出来なかったら、神が私を罰するのでは？」と思う人がいるかもしれませんが、安心してください。神は無条件で私たちを愛しています。神は、聖書を読まない人間は愛さない、などとは決して言いません。聖書は、罪悪感やプレッシャーや恐れのお気持ちから読む本ではありません。

しかし神は、人間が御言葉を聞いても、それを心で否定し、生活の実践においても否定することについては警告しています。神は御言葉によって、私たちの徳を高める、つまり霊的に成長させることを望んでおられます。もし聖書に書かれた教えを受け入れないならば、救い主イエスを拒否することにつながる可能性があるのです。

しかし、いつか自分が救い主を拒否してしまうことが怖いから、という理由で聖書を読むのはいけません。恐れに基づくのではなく、神への愛と信頼、感謝と喜びの気持ちから聖書を開くように心がけましょう。そして、ここでも大切なのは、聖書プランのスケジュール通りに聖書を読まなかったからといって、イエスを救い主と信じる信仰がすぐになくなるわけではない、ということです。

使徒パウロは次のように言いました。「というのは、キリストの愛が私たちを取り囲んでいるからです。私たちはこう考えました。ひとりの人がすべての人のために死んだ以上、すべての人が死んだのです。また、キリストがすべての人のために死なれたのは、生きている人々が、もはや自分のためにではなく、自分のために死んでよみがえった方のために生きるためなのです。」（コリント人への手紙第二 5章 14-15節）

私たちが神の御言葉を聞きたいと思うのは、神の私たちへの愛の言葉を聞きたいからです。私たちは、神の罰を、すべての人間の身代わりとして受けたイエスの愛を知っています。神のひとり子は私たちに犠牲の愛を示しました。そのことを喜び感謝し、神のために生きたいと思う気持ちが、私たちが聖書を読む動機です。

イエスが十字架の上で支払った犠牲によって示された神の愛は、いつまでも変わることがありません。聖書を私たちが読む読まないに関わらず、神の無条件の愛は、いつも私たちの上に降り注いでいます。神は、私たちが聖書をたくさん読むほど、私たちをもっと愛すのでしょうか。いいえ、違います。神の愛は、いつまでも変わりません。神が最高の犠牲を払って私たちに自分のものにしてくださったことによって、神の深い愛が示されました。

どうか肩の力を抜いて、気を楽にしてください。イエスはあなたに素晴らしい天国での永遠の命を受け取っ

イエスをもっとよく知るために心の目を開ける

エペソ

1:13-22; 3:14-21

コロサイ 1:9-14

てほしいのです。みずから十字架の上で苦しみを受けて死なれました。どうか、あなたに差し出されたイエスからのプレゼントに興味をもってください。この素敵なプレゼントについて知れば知るほど、あなたの生活が変わり、あなた自身も変えられることは間違いありません。

### 3. 内容が理解できなかつたらどうすればいいですか？

聖書は、難しく書かれているわけではありません。つまり、何かの暗号のように解読する必要はない、という意味です。ただ、聖書が書かれた時代は、私たちが暮らす社会とは大きく違うことは確かです。ですから町の名前や、習慣や、人間関係や、時代背景になじみがないと、聖書のメッセージが理解しにくい場合があります。そのせいで混乱するのは当然の事です。しかし、聖書をそのまま読み続ける、つまり、聖書を聖書で解釈する、という読み方をすると、はじめに感じた違和感は自然となくなっていくます。

もっと聖書について知りたいと思う人は、次の方法を試してください。

- 聖書をよく知る他のクリスチャンや、キリスト教会の牧師に質問する
- その節について説明している解説書を読む
- 聖書研究グループに入る
- 第4章で紹介するデボーションの手順を行なってみる

## グループに入る

神はクリスチャン同士が、信仰の交わりを持ちながら生活することを望んでいます。あなたも、聖書を一緒に学ぶクリスチャンの仲間を見つけたり、研究グループに入

仲間と  
一緒に読む

ヘブル  
10:22-24  
エペソ  
4:11-16

ったりすることで、信仰の交わりという、神からの素晴らしい恵みを受けることができます。このような学びの中で、聖書に対する理解を深め、お互いの信仰を増し加えるように助け合うことができます。このような交流の中で

---

**God didn't intend the Christian life to be lived alone**

---

は、参加者それぞれが、どのように日常生活で御言葉を応用できたかを知ることができます。その際、次の章で説明する5つの手順（聞く、考える、共感する、実践する、祈る）が役に立つでしょう。

グループで学ぶ時には、お互いの理解度を尊重し、忍耐を持って接しましょう。また、新しい発見や意見を歓迎し、今はまだよく理解できない言葉や考えを書きとめ、次の集まりの時までに、誰かに調べてきてもらうようにしましょう。

4. あなたが、どの聖書勉強グループに入りたいか、または、どのような新しいグループを作りたいかについて話し合ってください。

## 分かち合いましょう

「むしろ、心の中でキリストを主としてあがめなさい。そして、あなたがたのうちにある希望について説明を求め人には、だれにでもいつでも弁明できる用意をしていなさい。」（ペテロの手紙第一3章15節）

神の御言葉をただ読むことと、それについて思いめぐらすことは違います。思いめぐらすとは、その日1日、神の素晴らしい御業（みわざ）について考えるということです。このように考えることは、周りの人たちにも、神の素晴らしさを伝える機会にもつながります。

分かち合う  
準備をする

詩篇 78:1-7

マタイ

28:18-20

ぜひ、あなたが読んだ聖書の箇所を復習しましょう。物語なら、その内容を他の人が分かるように、自分の言葉で言い直す練習をしましょう。その時には、何が言いたいか、という話の中心点をはっきりさせることが大切です。話の中心点が聖書の真理であるなら、御言葉を暗記してから周りの人と分かち合しましょう。

何よりも大切なのは、聖霊なる神が、あなたの中で働いてくださることを、嬉しく期待しながら話すことです。そんなあなたを通して、神は、人々をご自身のそばに引き寄せてくださるのです。これ以上に素晴らしいことはありません！

神と神のみわざについて、聖書にすべてが書かれているわけではありませんし、私たち人間が神の考えをすべて知ることもできません。神は次のように言われました。

「わたしの思いは、あなたがたの思いと異なり、わたしの道は、あなたがたの道と異なるからだ。——【主】の御告げ——天が地よりも高いように、わたしの道は、あなたがたの道よりも高く、わたしの思いは、あなたがたの思いよりも高い。」（イザヤ書 55 章 8-9 節）

ですから、使徒パウロのように、ただ神の素晴らしさに驚き、憧れるだけで良い場合もあります。「ああ、神の知恵と知識との富は、何と底知れず深いことでしょう。そのさばきは、何と知り尽くしがたく、その道は、何と測り知りたいことでしょう。」（ローマ人への手紙 11 章 33 節）

5. 日常会話や普段の人づきあいの中で、自分が学んだことを、どんな風に話せば自然に伝わるのか話し合ってください。

## 私たちの生活との関係を考える

1. デボーションを行なう生活をするのに邪魔になるのは、どんなことですか？あなたはその問題をどうやって解決しますか？
2. 聖書を読むための予定をつくり、カレンダーや手帳に書き込みましょう。
3. 自分が学んでいる内容を分かち合いたい人を何人か選んでみましょう。
4. この章の中で、あなたにとって一番印象深かったことを一つ挙げてください。
5. その印象深かった内容に基づいて、神に祈りを捧げてください。

## 次のステップ

覚えましょう。

この章の中で一番印象深かった聖句を覚えましょう。

**読みましょう。**

ルカの福音書を読み始めましょう。

**日常生活に生かしましょう。**

この一週間、この章で学んだ内容に基づいた信仰生活を送るにはどうすればいいか、話し合しましょう。

**伝えましょう。**

この章で学んだ内容を、誰に知ってもらいたいと思いましたか？いつ、どこで、誰に、どのように伝えるか決めましょう。  
(この本をたくさん活用してください。)

第4章に進み、デボーションを行なう生活の送り方を学びましょう。

## 第4章

# デボーションをする生活

生活を便利にする情報や、何かを上手に行なうコツを紹介する本や雑誌が、毎年たくさん出版されています。

1. 現代の日本で、多くの人を知りたいと思っていることは何ですか？自己啓発本などでよく取り上げられるテーマは何ですか？

確かにこうしたものは、私たちの生活を多少良くしてくれるかもしれませんが。しかし聖書だけが、神ご自身の御心を伝え、死後にも永遠に続く私たちの幸せな生活への希望について教えてくれます。

私たちが本当に信頼できる本は聖書だけです。聖書だけが全宇宙を創造した神について教え、その神が私たちを救うためにこの世に来たことを知らせています。

神は、ご自身があなたの天の父であり、親しい友人であり、さらにあなたを守られる方だということを、あなたに知って欲しいのです。聖書を読むことは、このように素晴らしい神とのつながりを持つことなのです。

第3章では、聖書を一般的な本を読むように全体を通読する方法を紹介しました。この第4章では、あるデボーションのやり方を紹介します。次に聖書を読む時、以下の方法を練習してみてください。



1. **聞く** - この御言葉から、どのような第一印象を受けますか？



2. **考える** - この御言葉を通して、神はどのような真理を教えてくださいませんか？



3. **現代につなげる** - この御言葉は、現代社会とどのようなつながりがありますか？

 4. 実生活に生かす - あなたの日常生活の中で、どのようにこの学びを実行できますか？

 5. 祈る - 神に感謝をささげ、聖霊の助けを求めましょう。

これから説明する方法は、個人でも、グループでも使うことができます。どのくらい時間をかけるかは自由です。この方法を覚えておくた

 めに右手の指5本を使うといいかもしれません。まず親指が「聞く」（第一印象）です。次の人差し指は「考える」（新しいものを指す）、中指は「つなげる」（現代社会に当てはめる）、薬指は「生活に当てはめる」（決意する）、そして小指は「祈る」（学びを自分のものにする）です。

この5つのステップについて、以下の説明を読んでください。

## #1 聞く

「そのように、信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。」（ローマ人への手紙 10 章 17 節）

時々、話している相手が上の空で、あなたの言っていることを聞いていないと感じる時はありませんか？そんな時、その人は別のことで頭がいっぱいなので、あなたが言った内容をよく理解してくれません。

良いコミュニケーションは、相手の言うことをよく聞くことから始まります。聖書についても同じことが言えます。**デボーションの時間は、主イエスの言葉をよく聞く時間です。**ですから、あなたが神の御前に立っていることに対する感動や尊敬の気持ちを持ってデボーションを

サムエル

「お話してください。しもべは聞いております。」

1サムエル 3:1-10

始めましょう。神の言うことに耳を傾げるためのアドバイスをいくつか紹介します。

---

**Devotion time is  
your time for  
listening to the Lord**

---

- a. 祈りで始めましょう。  
神との会話を始めるにあたって、神があなたの頭と心を開き、神の言葉を受け入れられるように願いましょう。
  - b. 御言葉をよく読みましょう。  
御言葉を注意深く聞きましょう。神があなたに直接語りかけているのです。この部分を端折ってしまわないでください。ゆっくり読んで、神の言葉をじっくりと心に沁み込ませましょう。
  - c. 最初に思ったことを書きとめましょう。  
聖書を読んだ時に、何が心に残りましたか？どんな言葉やフレーズや考えに心惹かれましたか？どんな人や出来事に興味を持ってましたか？
2. 以上の手順にしたがって聖書を読んでみましょう。  
このように御言葉を「聞いた」時、どんな風を感じたか話し合しましょう。（この練習としておすすめの箇所はヨハネの福音書4章1-26節です。）

メッセージに  
ついて瞑想する。

ヨシュア 1:7-9

詩篇 1

詩篇 119:97

ルカ 2:19

## #2 考える

「どんなにか私は、あなたのみおしえを愛していること  
でしょう。これが1日中、私の思いとなっています。」  
(詩篇 119 章 97 節) 「しかしマリヤは、これらのことを

マリヤと  
マルタにとっ  
て、一番大切  
なこと

Luke 10:38-42

すべて心に納めて、思いを巡らしていた。」（ルカの福音書 2 章 19 節）

聖書に書かれたすべての言葉には、神が私たちに伝えたいと望む御心が含まれています。読む間、神が私たちに示す知恵と驚くような出来事について深く考え、黙想してください。つまり、神の本当の御心は何であるか、神が私たちに伝えたいことは何なのかを深く考えるのです。

聖書を初めて読む人の気持ちを想像してみましょう。**私たちの罪深い性質は、神の言葉を否定しようとしません。**

自分の思い込みや慣れ親しんだ文化特有の考え方は、私たちが神の御言葉を理解するのをしばしば妨げるのです。

そんな時は、次の質問に答えてみましょう。

---

**Our sinful nature doesn't always want to hear or accept what God is saying**

---

- この御言葉は、神のどんな属性（特徴）を示しているか？
- この御言葉は、私たちの住む世界について、どのようなことを示しているか？

次に、上で学んだことを要約しましょう。

- この御言葉は、どのような不変の真理を表しているのか？
- この御言葉の一番大事な点は何か？（要約して書きましょう。）

この時点では、知らない人の名前や、よく分からない考えがあっても気にしないようにしましょう。重要な点だけに集中し、その内容が心と頭にしみ込むように、思いめぐらせましょう。時には、聖書を先まで読んで初めて

悪魔の昔からの  
誘惑の手口  
「神は、ほんとうに言われたのですか。」  
創世記 3:1-6

意味が分かることも出てくるはずですが。質問があれば、それをリストにしておきましょう。そして、聖書の解説書を調べたり、聖書の正しい知識を持つクリスチャンに聞いてみたりするのをおすすめします。

---

**Be willing to accept  
the mysteries that  
are there**

---

そして何より、**聖書に書かれた不思議な事柄を謙虚に受け入れる心構えを持ちましょ**

**う。**このような心構えを持つには、信仰が必要です。私たちがこのような信仰を持てることは、神の驚くべき恵みと奇跡の一部です。

3. 聖書を学ぶ際に、障害となりそうなのはどんな事ですか。あなたは、その問題をどうやって解決しますか？

### #3 ♡ 現代につなげる

「昔書かれたものは、すべて私たちを教えるために書かれたのです。それは、聖書の与える忍耐と励ましによって、希望を持たせるためなのです。」（ローマ人への手紙 15章4節）

聖書を読むことは、この世の知識を学ぶことや、脳のトレーニングをすることとは違います。聖書は、人間の知識では、とうていばかり知ることのできない神の神秘について教えています。聖書を読むとは、神のみが知りうる知恵に触れるという素晴らしいことなのです。

前のステップでは、聖書が書かれた当時の人々に対して、神が何を伝えたのかを学びました。その後は、その真理を現代の私たちと関連付けて考えることが必要になります。例えば、現代社会と聖書の中の社会とは、どう

ベレヤの人々は、毎日聖書を調べた

使徒 17:10-12

聖書は、人が知り得ない神秘を明らかに

している

ローマ

16:25-27

1コリント

4:4-14

エペソ 3:2-9

いう点が似ているのでしょうか。聖書の時代と同じように、現代の人々も苦しめられている問題は何でしょうか。また、今の時代に特有の罪があるとすれば、それは何でしょうか？ 私たちには、どのような希望が必要でしょうか？

---

**It is essential to look at what it means for your life**

---

このように考える時、他人事として考えるのではなく、**他でもない自分の事として考えることが非常に重要です。**聖書のどの点が、自分に当ては

まっているのでしょうか？ 聖書に書かれている問題で、あなたの人生にも共通することは何でしょうか？

聖書の中で、神はあなたに個人的に語りかけています。そのメッセージの意味がはっきりと分かるようになる質問を、いくつか挙げておきましょう。御言葉を読んだ後に、以下を読んでください。

- a. この御言葉は、あなたのどんな罪を示していますか？ — 御言葉のどの点が、自分の思いと、言葉と、行ないの悪い所に気づかせてくれますか？
- b. あなたは、どのように慰められますか？ — イエスの愛は、あなたの人生を導いています。そのことを、この御言葉からどのように知ることができますか？
- c. あなたにどんな課題を与えていますか？ — この御言葉を読むと、今よりもっと忠実にイエスに仕えたいと励まされますか？ あなたは具体的に、どのようになりたいと思うようになりましたか？
- d. あなたを前向きにさせるのは何ですか？ — あなたの前向きな思いと言動は、周りの人に大きな影響を与えます。あなたが前向きに行動したいと思うきっかけになった点はどこですか？

4. ここで学んだことを要約してください。

## #4 実生活に生かす

「みことばを実行する人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者であってははいけません。」

(ヤコブの手紙 1 章 22 節)

御言葉を聞き、それについて考え、現代の社会につなげ、今度はあなたが日常生活の中で、どのように実践していくかを決めましょう。聖書から学んだ普遍的な真理は、あなたの人生にどのような変化をもたらすでしょうか。それに答えるための質問がこちらです。

- 神は私にどのような人間になってほしいか。
- 神は私にどう考えてほしいのか。
- 神は私に何をしてほしいのか。
- 神は私がどこに行くことを望んでいるのか。
- 神はこのことを誰と分かち合うように、私を導いているか。

---

**Write down what you intend to do with the truth in your life**

---

あなたが御言葉から学んだ真理を、日常生活の中でどのように実践するつもりかを書きとめましょう。

神が導く方向にあなたの行動や態度を変えていくための、具体的な計画を立てましょう。

5. あなたが学んだことを、きちんと実践し続ける方法をいくつか挙げ、話し合ってください。

## #5 祈る（聖霊の助けを得る）

「その方、すなわち真理の御霊が来ると、あなたがたをすべての真理に導き入れます。」（ヨハネの福音書 16 章 13 節）

デボーションの最初と最後に祈るのは、とても良いこと

**It is helpful to begin and end with prayer**

です。イギリス人作家の C.S. ルイスは、次のように祈っていたそうです。「主よ、本当の私が、本当のあなたに出会

うことができますように。」

聖書は聖霊に動かされた人によって書かれました。それと同じ聖霊が、聖書を読む私たちをも導くことをイエスは約束しています。聖霊は、まるで患者の病気を指摘する医者ようです。聖霊は、私たちの霊的な病である罪を、律法によって明らかにします。

また、外科医が手術中にメスを使って患部を切り取るように、聖霊は私たちの罪を取り除きます。それは時に痛みを伴うかもしれませんが、しかし、その痛みは福音という薬によって和らげられ、やがては癒しがもたらされます。福音は、私たちが神と健康的な関係を持つように励まし、神と共にある喜びと、強さを私たちに与えます。

- 聖書を読む前：**聖霊が、あなたの目と心を開くように願いましょう。また、あなたが御言葉から素晴らしい知識を得ることができるように願いましょう。
- 読んでいる時：**あなたはどのような御言葉に惹きつけられましたか？また、考えさせられたり、困惑したりしましたか？なぜ、あなたはそうに思ったり感じたりしたのでしょうか？ここで一度止まって、神と話してみると良いでしょう。
- 読み終わった時：**その日聖書から学んだことを、日常生活で実践できるように、聖霊に励ましと導

神の御言葉には、人を变える力がある

エレミヤ 31:33-34

マタイ 13:1-23

ローマ 12:1-2

1ペテロ 1:22-25

きを願いましょう。なるべく具体的に祈りましょう。

あらかじめ用意された祈りを使ってもいいでしょう。まだ祈り方がわからない方は、主の祈りを定期的に祈ることをおすすめします。(マタイの福音書 6 章 9—13 節)

6. あなたが聖書を読んでいる間、聖霊がいつも働いています。こうした聖霊の働きがあることの安心感について話し合しましょう。また、あなたが、どのように祈ったらよいかも話し合ってください。

## 私たちの生活との関係を考える

1. この章の中で取り上げた、聖書を読むための 5 つのステップについて復習し、自分にとって最も役立つ形にまとめましょう。
2. 練習しましょう。マルコの福音書 4 章 1-25 節を読んで、この章で学んだ方法を試してください。(この本の最後に本文が掲載されています。)
3. 聖書の学びの始めと終わりの祈りを、それぞれ書いてください。
4. この章の中で、あなたにとって一番印象深かったことを一つ挙げてください。
5. その印象深かった内容に基づいて、神に祈りを捧げてください。

## 次のステップ

### 覚えましょう

この章の中で一番印象深かった聖句を覚えましょう。

### 読みましょう

ルカの福音書を読み始めましょう。（自分の読みやすい書から始めましょう）

### 日常生活に生かしましょう

この一週間、この章で学んだ内容に基づいた信仰生活を送るにはどうすればいいか、話し合しましょう。

### 伝えましょう

この章で学んだ内容を、誰に知ってもらいたいと思いましたか？いつ、どこで、誰に、どのように伝えるか決めましょう。（この本をたくさん活用してください。）

## マルコの福音書 4 章 1-25 節

### 種まきのたとえ話

1 イエスはまた湖のほとりで教え始められた。おびただしい数の群衆がみもとに集まった。それでイエスは湖の上の舟に乗り、そこに腰をおろされ、群衆はみな岸への陸地にいた。2 イエスはたとえによって多くのことを教えられた。その教えの中でこう言われた。

3 「よく聞きなさい。種を蒔く人が種蒔きに出かけた。4 蒔いているとき、種が道ばたに落ちた。すると、鳥が来て食べてしまった。5 また、別の種が土の薄い岩地に落ちた。土が深くなかったので、すぐに芽を出した。6 しかし日が上ると、焼けて、根がないために枯れてしまった。7 また、別の種がいばらの中に落ちた。ところが、いばらが伸びて、それをふさいでしまったので、実を結ばなかった。8 また、別の種が良い地に落ちた。すると芽ばえ、育って、実を結び、三十倍、六十倍、百倍になった。」

9 そしてイエスは言われた。「聞く耳のある者は聞きなさい。」

10 さて、イエスだけになったとき、いつもつき従っている人たちが、十二弟子とともに、これらのたとえのことを尋ねた。11 そこで、イエスは言われた。「あなたがたには、神の国の奥義が知らされているが、ほかの人たちには、すべてがたとえで言われるのです。12 それは、『彼らは確かに見るには見るがわからず、聞くには聞くが悟らず、悔い改めて赦されることのないため』です。」

13 そして彼らにこう言われた。「このたとえがわからないのですか。そんなことで、いったいどうしてたとえの理解ができません。14 種蒔く人は、みことばを蒔くのです。15 みことばが道ばたに蒔かれるとは、こういう人たちのことです——みことばを聞くと、すぐサタンが来て、彼らに蒔かれたみことばを持ち去ってしまうのです。16 同じように、岩地に蒔かれるとは、こういう人たちのことです——みことばを聞くと、すぐに喜んで受けるが、17 根を張らないで、ただしばらく続くだけです。それで、みことばのために困難や迫害が起こると、すぐにつまずいてしまいます。18 もう一つの、いばらの中に種を蒔かれるとは、こういう人たちのことです——みことばを聞いてはいるが、19 世の心づかいや、富の惑わし、その他いろいろな欲望が入り込んで、

みことばをふさぐので、実を結びません。20 良い地に蒔かれるとは、みことばを聞いて受け入れ、三十倍、六十倍、百倍の実を結ぶ人たちです。」21 また言われた。「あかりを持って来るのは、柀の下や寝台の下に置くためでしょうか。燭台の上に置くためではありませんか。22 隠れているのは、必ず現れるためであり、おおい隠されているのは、明らかにされるためです。23 聞く耳のある者は聞きなさい。」24 また彼らに言われた。「聞いていることによく注意しなさい。あなたがたは、人に量ってあげるその量りで、自分にも量り与えられ、さらにその上に増し加えられます。25 持っている人は、さらに与えられ、持たない人は、持っているものまでも取り上げられてしまいます。」

---

上の聖書の箇所を使って次の練習をしてみましょう。



1. 聞く - この御言葉から、どのような第一印象を受けますか？



2. 考える - この御言葉を通して、神はどのような真理を教えてくださいか？



3. 現代につなげる - この御言葉は、現代社会とどのようなつながりがありますか？



4. 実生活に生かす - あなたの日常生活の中で、どのようにこの学びを生かせますか？



5. 祈る - 神に感謝をささげ、聖霊の助けを求めましょう。

## 聖書の5本指ガイド



1. **聞く** - この御言葉から、どのような第一印象を受けますか？

(観察)



2. **考える** - この御言葉を通して、神はどのような真理を教えてくださいませんか？ (探求)



3. **つなげる** - この御言葉は、現代社会とどのようなつながりがありますか？ (適用)



4. **生かす** - 日常生活の中で、あなたは、どのようにしてこの学びを生かしますか？ (応用)



5. **祈る** - 神に感謝をささげ、聖霊の助けを求めましょう。

## 他のおすすめ

- **大事な言葉に下線を引く、または、蛍光ペンで印をつけるなどして、定期的に復習する。**
- **十字架の印を書く**—イエスについての預言や、イエスが救い主であることを示す御言葉の場所に、十字架を書く。
- **ノートに書きとめる**—自分が読んだ箇所から学んだことをノートに書く。
- **オンラインの聖書を使う**—オンライン聖書サイトやアプリをチェックし、自分にとって一番使いやすいものを利用する。
- **BGMを流す**—聖書を読みやすくしてくれるような音楽を見つけて流す。
- **暗記する**—自分にとって最も意味のある御言葉を暗記する。カードに書いてそれを毎日復習する。
- **黙想する**—1日の間、学んだ内容について思い巡らす。（その日に経験することと、その御言葉がどうつながっているか観察することで、深い理解が得られる）
- **歌う**—自分が一番好きな讚美歌や、クリスマスソングを歌ってからデボーションを始める。
- **取り入れる**—日常会話の中にその日学んだことを取り入れる。できるだけ自然な形で人に話せるように工夫する。
- **他の人が書いたデボーションを聞いたり読んだりする。**そうすることで、神の言葉に触れる時間を増やし、それを日常生活に適用させる機会を増やす。

この章を復習しましょう。どの部分が自分に役立つと感じましたか？聖書をさらに興味深く、また意味深く読むために、他にどんな方法が思い浮かびますか？

## 付録 A

# 聖書の要約

### 旧約聖書の歴史

#### 天地創造から紀元前 2000 年

神は、6 日間で全宇宙を創造しました。その時、はじめの人間アダムとエバも創造しました。アダムとエバは、神の敵である悪魔に誘惑され、罪を犯しました。その直後、神は 2 人に救い主を送ることを約束しました。

やがて人間の数は増えていきました。数が増えるにしたがって、人々はどんどん悪くなっていきました。神は邪悪な人間たちを創ったことを後悔し、世界規模の洪水によって不信仰の人間をすべて滅ぼしました。この洪水から守られ、生き残ったのは神を信じたノアとその家族 8 人だけでした。神はノアの 3 人の息子の内、セムを選んで、約束の救い主の祖先としました。

#### 紀元前 2000 年から紀元前 1700 年（族長時代）

神は、セムの子孫であるアブラハムを選んで、神の選んだ地カナンへと旅立つように導きました。神はアブラハムに、約束の救い主の祖先となることを伝えました。アブラハムと妻のサラは高齢にも関わらず、神の力によって息子イサクを授かりました。

この時神は、神の民との契約の印として、割礼を制定しました。神はアブラハムに、息子イサクの命を神に捧げることを命じて、アブラハムの信仰を試しました。アブラハムは神を信じ、息子の命を神に進んで捧げようとしていました。しかし、その強い信仰を見た神は、息子の命を捧げようとしたアブラハムの手を止め、イサクの身代わりとしての子羊を与えました。

## 紀元前 1700 年- 紀元前 1500 年（イスラエル人がエジプトから救い出される）

ヤコブの子孫はイスラエル人と呼ばれるようになりました。イスラエル人はエジプトに住み、その数はおびただしく増えました。数百年が経つうちに、エジプト人は彼らを強制的に奴隷にしました。神は、モーセを選んで、イスラエル人をエジプトから救い出す仕事を与えました。

エジプト人は、イスラエル人を手放すことを頑なに拒否しました。そのため、神は10の災いをエジプトに送りました。最後の災いの前に、神はイスラエル人の家族にそれぞれ子羊の肉を夕食に食べ、その血を家の門の柱に塗るように命令しました。この命令に素直に従った家族は全員災いから逃れることができました。その後、この出来事は「過ぎ越しの祭り」としてイスラエルの人々の間で毎年祝われることになりました。

この「過ぎ越し」の出来事は、後に生まれる救い主イエスを予表しています。イエスは、神が全ての人間の罪を取り除く（過ぎ越す）ために遣わされた神の子羊だからです。

この後、イスラエル人たちはエジプトを離れ、神の約束の地カナンへ向けて旅を始めます。その間、民は度々神に対して反抗しました。それにも関わらず、神は、日中は雲の柱、夜には火の柱によって、民を導きました。また、神は、朝には特別に「マナ」と呼ばれるパンを空から降らせ、夕方には、ウズラの群れを飛んで来させることで、イスラエル人に日々の食物を与えました。

神は、モーセを通して、イスラエル人のための律法を与えました。それは道徳律法、儀式律法、市民律法の3つに分かれていました。10の戒めはこの中の道徳的律法から取られました。このとき、神は、民が神に忠実に従っているならば、祝福を与え続けることを約束し、イスラエルの民との間に契約を結びました。

## 紀元前 1500 年 から 紀元前 1100 年 (イスラエル人が約束の地へ旅をして、カナンを征服する)

イスラエル人は、神の導きによってエジプトでの奴隷生活から解放され、神が約束した地へ旅を始めました。この時神は、イスラエルの民を 40 年間荒野でさまよわせました。それは民が神に聞き従わなかったからです。

ある時、神は毒蛇を人々の間に送りました。それと同時に神はモーセに、青銅でできたへびを作り、棒につけて高く掲げ、人々がそれを見上げるよう命じました。神が命じたとおりの青銅のへびを見上げた者は、毒蛇にかまれたにも関わらず命を救われました。この出来事もまた、イエスの予表です。十字架にかかったイエスを救い主として信じて見上げる人は、罪の罰から救われます。

ヨシュアはモーセの後を継いで、イスラエル人のリーダーになりました。そしてイスラエルの人々を、12 の部族に分けて定住させました。（この 12 部族の呼び名は、ヤコブの息子とヨセフの息子を合わせた 12 人の名前に由来します。）ヨシュアの死後、神は士師を任命し、人々を導く役目を与えました。イスラエルの最後の士師の名はサムエルです。

## 紀元前 1100 年 から 紀元前 980 年 (統一王国)

最後の士師サムエルが高齢になると、イスラエルの民は他の国と同様に、王が欲しいと願うようになりました。そこでイスラエル初代の王として選ばれたのがサウルです。就任後しばらくの間、サウルは良い王でした。しかし、やがてサウルは神に背くようになり、最後には自殺しました。神はサウルの後継者を選ぶ仕事を、サムエルに与えました。その結果選ばれたのがダビデです。ダビデはもともと羊飼いでした。また多くの詩篇を書いた詩人でもありました。ダビデの統治のもとで、イスラエルは強い国になりました。しかし、ダビデもまた罪人であり、完璧な王ではありませんでした。ダビデはある時、姦淫と殺人の罪を同時に犯しました。

ダビデが死ぬと、息子のソロモンがダビデの後を継ぎました。ソロモンは神によって、類まれなる知恵を与えられたことでよく知られています。ソロモンは神に与えられた知恵を使って、箴言を書きました。また、素晴らしく壮大で美しい神殿を、神のために建てました。しかし、ソロモンもまた罪を持っていました。彼の罪は、偶像を拝む妻が大勢いたことに表されています。ソロモンの死後、イスラエルの勢いは衰えていきました。

## 紀元前 980 年 - 紀元前 720 年 (王国の分裂)

ソロモンが死ぬと、イスラエルは二つに分断されます。10部族で構成された北の王国はイスラエル王国と呼ばれ、首都はサマリヤに定められました。南の王国は2部族だけで構成されるようになりました。それは、ユダ王国と呼ばれ、首都はエルサレムとなりました。

イスラエル王国は悪い王によって統治されるようになりました。神はエリヤとエリシャという名の二人の預言者を遣わして、人々に警告を与えました。しかし、イスラエル王国の人々は、この警告に耳を貸しませんでした。その結果、人々は神から離れ、アッシリア帝国に征服されたイスラエル王国は、B.C.720年に滅亡しました。

一方、南のユダ王国は、良い王と悪い王が入り混じって統治されていました。人々の信仰は、まことの神と異教徒の神との間で揺れ動いていました。神はユダ王国の人々にも警告を与えるために預言者を送りました。例えば預言者イザヤは、人々に、神が救い主を送ることを約束した事実を思い出させました。

## 紀元前 720 年 - 紀元前 400 年 (バビロン捕囚と帰還)

ユダ王国の人々は、何度も神に逆らいました。それで神は、バビロニア帝国の侵攻を許しました。その結果、ユダ王国の人々は捕まり、捕虜としてバビロンに連れさらられました。それでも神は、救い主がユダの町から生まれると預言者を通して約束していたので、この小さな国を残しておきました。70年のバビロン捕囚の後、人々はカナンの地へ戻り、エルサレムの町と神殿を再建しました。

## 紀元前 400 年からイエスキリストの誕生まで

聖書はユダ王国の人々がカナンの地へ帰還してから、イエスが生まれるまでの期間については何も記録していません。しかし神は、ユダから救い主が生まれると預言者を通して約束しました。どんなに小さくなくても、イエスによる救いが実現するまで、神はこの国を大切に保ち続けました。

### 旧約聖書のまとめ

旧約聖書には、神と神の民の関係について多くのことが記録されています。そこには、神の民が何度も神に反抗した事実が記されています。また、神がひどく罪を憎むと同時に、深く罪人を愛す方だということも明らかにしています。そして何よりも、神が、アダムとエバの時代から全人類に約束していた救い主を送るために、神の民を大切に保護してきた歴史についても伝えています。

## 新約聖書の歴史

### —キリストの生涯—

#### 誕生と子供時代

神が、人間のために、救い主を送る約束を実行する時がやってきました。その時、神はマリヤという処女に天使を送りこよう告げさせました。「聖霊があなたの上に臨み、いと高き方の力があなたをおおいます。」天使は、この子どもが「聖なる者」「神の子」と呼ばれる、神に与えられた特別な子どもだと伝えました（ルカの福音書 1 章 35 節）。その後、神はマリヤの婚約者ヨセフにも天使を送りました。天使は言いました。

「ヨセフ。恐れないうあなたを妻マリヤを迎えなさい。その胎に宿っているものは聖霊によるのです。マリヤは男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。この方こそ、ご自分の民をその罪から救ってくださる方です。」（マタイの福音書 1 章 20、21 節）

ヨセフとマリヤが結婚してから、二人はベツレヘムまで旅をしました。やがてマリヤは時が満ち、ベツレヘムの貧しい馬小屋で男の赤ちゃんを産みました。神の約束した救い主がついに生まれた時、荒野で羊の番をしていた羊飼いたちの前に天使が現れ「今日、あなたがたのために救い主がお生まれになりました」と告知知らせました。そして、空いっぱいには天使の大軍が現れ、神を讃美しました。その8日後にこの赤ちゃんは割礼を受けてイエスと名付けられました。

星に導かれて東の国の博士たちがイエスを探すためにやってきました。彼らはイエスに高価な贈り物をして拝みました。それと同じ頃、ヘロデという王が、イエスを見つけ出して殺そうとしていました。それで、ヨセフとマリヤとイエスはエジプトへ逃げました。ヘロデ王の死後、3人はガリラヤ地方のナザレの町に戻り、そこで生活しました。イエスが12歳になった時、イエスはナザレからエルサレムの神殿まで旅をしました。イエスはそこで、神についての優れた知恵と行ないによって、多くの人々を驚かせました。

## 公の伝道活動

イエスは、30歳の時に公の伝道活動を始めました。洗礼者のヨハネは、イエスが「世の罪を取り除く神の子羊」であると宣言し、イエスに洗礼を授けました。イエスはその後、40日間荒野で過ごし、悪魔からの誘惑に打ち勝ちました。そして、ごく庶民的な職業に従事していた男たちの中から12人の弟子を選びました。

3年の間、イエスは12弟子と共にイスラエル中を旅して過ごしました。その間、イエスは神の国のことを教え、イエスを神の子として信じるよう、熱心に人々に教えました。またイエスは、死者をよみがえらせるなどの数多くの奇跡を行ないました。イエスがこれらの奇跡を行なったのは、単に人助けのためだけではありません。それは、イエスがまことの神の子で、神が約束した救い主であることを示すためでもありました。ユダヤ人の中にはイエスを信じた者もいましたが、ほとんどのユダヤ人はイエスを拒絶しました。

## 苦しみと死、復活と昇天

イエスが33歳の時、イエスは御自身の受ける、苦しみと死と復活について預言しました。その直後に、イエスはロバに乗ってエルサレムの町に入城しました。その数日後にイエスは弟子たちと共に「主の晩餐」や「聖餐（せいさん）」と呼ばれる特別な食事をとりました。その夜、イエスは弟子のユダに裏切られ、敵に捕まりました。その次の日（金曜日）に、イエスは、まずユダヤ人の宗教指導者によって、次にローマ総督のポンテオ・ピラトによって、死刑を言い渡されました。その結果、イエスは2人の犯罪人と共に十字架刑を受けました。その日の午後、イエスは息を引き取り、埋葬されました。

死んで三日目に、イエスは復活しました。完全に死からよみがえったイエスは40日の間、弟子たちと共に過ごしました。イエスがよみがえったことを証拠づけるために、イエスは500人の前に姿を現しました。復活してから40日後にイエスは天に昇り、父なる神のもとに帰っていきました。

### イエスの生涯のまとめ

イエスが地上で過ごした33年の間、イエスは父なる神の存在を人間の目の前で示す、いわば神の代表でした。それと同時にイエスは、人間の代表でもありました。イエスは、神の要求することを完全に行ないました。つまり、律法を完全に守ったのです。イエスはまた、私たち罪人が本来負わなければならなかった苦しい神の罰を代わりに受けました。ですから、イエスはまことの神の子であり、私たちの救い主なのです。

### —初代教会の設立（33年～100年）—

イエスが天に昇ってから10日後、イエスは聖霊をこの世に送りました。その日はペンテコステと言われるお祭りの日でした。その日から、イエスの弟子たちは伝道を始めました。エルサレムの町から始まったこの伝道は、やがてその周りがあるイスラエルの町々やその近辺の地域に広がり、多くの人がイエスを信じるようになりました。

やがて、政府がこうしたキリスト教徒（クリスチャン）を迫害するようになる、クリスチャンたちは他の国々へ移動し、行く先々で福音を宣べ伝え始めました。その頃、神は異邦人（ユダヤ人でない人々）への伝道をする人物として、パウロという男を選び出しました。その結果、クリスチャンの教会は急速に発展していきました。1世紀の終わりには、キリスト教は南ヨーロッパから北アフリカ、また、東はインド、西はスペインにまで広がりを見せました。

ちょうどこの頃、新約聖書が書き記されていました。聖霊によって動かされた（逐語靈感を受けた）数人の男たちの手によって、神の御言葉が記録されたのです。マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネの書いた4つの福音書は、イエスの生涯について書かれたものです。また、新約聖書にはパウロがクリスチャンの教会や集会にそれぞれ宛てた手紙も含まれています。

イエスの弟子ヨハネは、聖書の最後の本である黙示録も書きました。その中でヨハネは、自身が見たまぼろしについて書き記しています。それは、イエスが再臨する前に、イエスによって行われるみわざについて明らかにしているまぼろしです。

## 付録 B

# イエスを中心とした読書プラン

この読書プランは、イエスと初代キリスト教会についての話から始まります。その後、話の流れを分かりやすくするために聖書の始めの部分に戻り、再び新約聖書と旧約聖書を行ったり来たりします。このような構成になっている理由は、イエスについての福音が中心となり、聖書の様々な書物の中から、そのつながりが読み取れるようにするためです。

このプランは、最初は読み通すのが難しいと思われる箇所を飛ばしています。この内容を読むのに時間がかかっても気にしないようにしましょう。また、読んでいて意味が分からないことが出てきても大丈夫です。とにかく読み続けてください。

あなたは、聖書の中で、様々な弱みと欠点を持ち、絶えず問題を起こす人々について何度も読むことになるでしょう。そして、神がこうした人々に対して絶えず深い愛を示し、救いの手を差し伸べていることも学びます。これらの物語を読んでいる間、すべての話が大きな話の一部分だということをいつも頭に置いておいてください。それはつまり、私たち人間は罪人で、神によって救ってもらう必要がある存在だということです。この主なメッセージを忘れないでおけば、様々な話を理解しやすくなります。

では、今から、聖書をはじめて通読するための読書プランを紹介しましょう。まず、聖書の中心であるイエスについてはっきりと理解するために、次の箇所から読み始めてください。また、祈りの時も同時に持つために、毎日ひとつの詩篇を読むことと、日々の生活に役立つ知恵を得るために、箴言を読むことをおすすめします。

## 第1部 — 基本 —

### 新約聖書

ルカの福音書 - イエスの誕生、公の伝道、死、復活の記録

使徒の働き - イエスのメッセージを信じ、多くの人が救われた時の  
初代キリスト教会の活動について

エペソ人への手紙 - キリストを信じる生活をどのように送ったらよ  
いかを教えている、各教会への手紙

## 旧約聖書の歴史(始まり)

創世記 1-4 章: 神による世界の創造—人間が罪を犯す

創世記 6-9 章: 神がノアとその家族を大洪水から救い出す

創世記 12-33 章: アブラハム、イサク、ヤコブの生涯

創世記 37-50 章: ヤコブの息子たちの話 (イスラエルの始まり)

出エジプト記 1-20 章: 神がイスラエル人を奴隷生活から救い、律  
法を与える

## 第 2 部—信仰の重要性—

### 新約聖書

マタイの福音書 1-28 章: イエスの生涯について (特にイエスが旧  
約聖書で預言された救世主である、という点に集中して)

ローマ人への手紙 1-15 章: クリスチャンの教えの要約と、イエスを  
信じることによって救われることについて

ヤコブの手紙 1-5 章: キリスト教の教えの要約 (イエスへの信仰に  
よって救われる)

### 旧約聖書の歴史 (つづき)

民数記 10-14 章: 神を信じなかったイスラエル人について

民数記 20-25 章: イスラエルの人々が荒野をさまよった時の話

申命記 31-34 章: モーセがイスラエル人のリーダーとして、人生の  
最後の日々をどう過ごしたか

ヨシュア記 1-11 章: 神がイスラエル人に約束の地を与えるために、  
どのように他の国々の王に対する勝利を得させたか

これらの聖書の中には、たくさんの聞きなれない名前が含まれてい  
るでしょうが、それについては気にしないでください。(名前を無

理に覚える必要はありません。) 神がこのようにたくさんの人の名前を書き記したのは、聖書が、地上で生きた実在の人物について書かれたことを示すためです。

## 第3部—愛と力の源—

### 新約聖書

ヨハネの福音書 1-20 章: イエスの生涯、また、イエスの話した言葉とその教え

ヨハネの手紙第一 1-5 章: 神が私たちが愛したので、私たちも神の愛の内に生きること

ペテロの手紙第一 1-5 章: 苦しい時にも、信仰の上に固く立つこと

ペテロの手紙第二 1-3 章: 神について間違った教えを教える人々についての警告

### 旧約聖書の歴史 (つづき)

士師記 1-2 章: イスラエルの人々が士師の時代にどのような問題に直面したか

ルツ記 1-4 章: 救い主の家系に加わった異国の女性の話

サムエル記第一 1-31 章: 弱く罪深い祭司エリとその息子たちについて、また、イスラエル初代の王サウルについての話

サムエル記第二 1-20 章: ダビデ王がイスラエルを統治したことと、その家に存在した多くの罪深い問題について

列王記第一 1-11 章: ソロモン王がイスラエルを統治したことと、ソロモン王が神のために神殿を建てた話。

## 第4部—信仰から離れることの危険—

### 新約聖書

マルコの福音書: 再びイエスとイエスの奇跡に焦点を当てた話

ガラテヤ人の手紙: イエスの福音とイエスへの信仰の重要性について強めた、教会への手紙

ヘブル人への手紙: 旧約聖書の預言の成就としてのイエスについての説明

## 旧約聖書の歴史（つづき）

**列王記第二 17 章:** 北イスラエルの滅亡について

**列王記第二 24-25 章:** 南イスラエル（ユダ王国）がバビロニア帝国によって征服された経緯

**エズラ書 1 章と 4-7 章:** バビロニア帝国がペルシャ帝国によって征服され、それによってイスラエル人の一部の人々が自国に戻り、エルサレムに神殿を建てなおした話

**エステル記 1-10 章:** ペルシャにとどまり続けたユダヤ人の女性の話（注：この頃からユダ王国の人々は、ユダヤ人と呼ばれるようになりました。）

ここまで来れば、つまり、エズラとエステルの時代に起こった話まで読めば、旧約聖書の主な出来事について読み通せたこととなります。ここまで読む間に、詩書も一緒に読みましょう。特に詩篇はお勧めですし、箴言も色々な気づきを与えてくれます。しかし、最初に聖書を通読するときには、あくまでも物語を読むことに焦点を当てることにしましょう。

預言書の重要な箇所は、将来この世に生まれてくる救い主について指し示しています。イエスがこの世でどのようなことをしたかを掴むために、上に示した箇所以外にも、他の預言書も合わせて読むのも良いでしょう。

## 第 5 部 —私たちの将来についての励まし—

**イザヤ書 6-7, 9, 12, 35, 41-45, 49-56, 60-61 章:** 神の民に対する警告と、将来生まれてくるメシア（救い主）についての預言

**ヨナ書:** 神が与えた仕事から逃げようとした男の話

**ピリピ人への手紙 1-4 章:** 困難な状況の時にどのように強くあるか

**コリント人への手紙第二:** 反対にあっても強くあること

テサロニケ人への手紙第一 1-5 章: イエスの再臨にどのように備えたらよいか

黙示録 1, 5, 7, 21, 22 章: 天国の素晴らしい栄光について

---

このリストの終わりまで来たら、もう一度最初から読みましょう。または、御言葉の中にとどまらせてくれる他の読書プランを見つけてください。

## 付録C

# 解釈の基本ルール

聖書は、注意深く読まない人と、誤解してしまうことがよくあります。私たちは、神が本当に意図している意味を理解せずに、自分勝手に解釈してしまうのです。ですから、自分の思い込みは最小限に抑え、神の御心だけを読み取るように心がけましょう。こちらに、聖書の解釈をする際の基本的なルールを挙げておきます。

## 聖書は普通のことばで書かれています

聖書はもともとヘブル語とギリシャ語で書かれました。ですから**良く翻訳された聖書を手に入れることはとても重要**です。原語に忠実であると同時に、日本語として読みやすいものを選びましょう。読んでいく際に、大量のことばの中で迷子にならないためのガイドラインを紹介しましょう。

---

**It is important to get a good Bible translation**

---

- A. 基本的な文法に沿って理解する
- B. 文脈に配慮する
- C. 御言葉を御言葉によって理解する

## A. 基本的な文法に沿って理解する

---

**Take its simple literal meaning unless clearly shown otherwise**

---

聖書は日本語の基本的な文法に従って書かれています。聖書解釈の最初の基本ルールは、**聖句を単純に文字通りの意味で理解する**ということです。（例外として、文脈上、別の解釈が必要な場合もあります。）

## 比喩(ひゆ)的表現

単純に書かれた言葉を比喩として理解することや、逆に、比喩を文字通りにとらえたりすることはしないでください。聖書の中では、通常の文学で使われるような比喩的表現が、頻繁に使われています。

- a. **直喩(ちよくゆ)** - 何かにととえて話をする。「たとえば」「のよう」などの言葉を使う。  
例)「天の御国は、こういう人にととえることができます」  
(マタイの福音書 13 章 24 節)
- b. **隠喩(いんゆ)** - ととえるものと、たとえられるものとを、それとなく示す。「～ようだ」などを使わない。  
例)「あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です」(詩篇 119 篇 105 節)
- c. **誇張** - 感情的な高まりを強調するために大げさに表現する。  
例)「金持ちが神の国に入るよりは、らくだが針の穴を通るほうがもっとやさしい」(マタイの福音書 19 章 24 節)
- d. **象徴、表象、シンボル** - 霊的な真理を示すもの。(罪を取り除く小羊、十字架)  
例)「多くの人々がキリストの十字架の敵として歩んでい  
る」(ピリピ人への手紙 3 章 18 節)
- e. **擬人法** - 人ではないものを、歌ったり、手を叩いたりすることができる人間に見立てた表現。  
例)「山と丘は、あなたがたの前で喜びの歌声をあげ、野の木々もみな、手を打ち鳴らす」(イザヤ書 55 章 12 節)
- f. **擬人観** - 神とのつながりを感じられるように、人間的な特徴や感情などを用いながら神について説明すること。  
例)「主は人のいないのを見、とりなす者のいないのに驚か  
れた。そこで、ご自分の御腕で救いをもたらし」(イザ  
ヤ書 59 章 16 節)

比喩的表現やたとえ話を読む時には、**たとえられている対象が何なのかに注意**しましょう。そうすることで、たとえ話の本当の意味が分かりやすくなります。

---

## Find the point of comparison

---

### 様々な文学スタイル

聖書には、様々な種類の文学スタイルが含まれます。その書き方の分類について知っておきましょう。

- a. **説話文学** - これらは、歴史的な記録で、他国の歴史ともぴったりに一致します。（創世記、出エジプト記、ルカの福音書など）  
読み方：全て文字通り受け入れる。
- b. **知恵文学** - この種類の書物には、日常生活に役立つ様々な真理や格言が書かれています。（箴言や伝道者の書）  
読み方：神が人生について教えることに感謝して読む。
- c. **詩歌文学** - 個人的な神への賛美や、人生の苦しみについて表現されたもの。（詩篇など）  
読み方：自分の個人的な苦しみと重なる部分を見つけながら読む。さらに、自分の賛美や祈りとしながら読む。
- d. **たとえ話** - 日常生活の場面の話を使って、霊的な真理について説明したもの。（マタイの福音書 13 章を参照）  
読み方：たとえ話の中心点をいち早く見つけ出す。（その他の情報は、この大切な点を、より詳しく説明しているだけかもしれません。）
- e. **預言書** - 預言者が神に向かって話しているもの。預言者たちは時には、将来に起こることについて話したり、人々に悔い改めるように勧めたり、希望を与えたりしている。（イザヤ書 9 章と 53 章、エレミヤ書 23 章 1-8 節）  
読み方：すでに成就した預言はどれか、これから成就される預言は何かを考えながら読む。
- f. **黙示文学** - 霊的な出来事を示す象徴や、素晴らしいイメージを使用して書かれた文学。（ダニエル書の一部、エゼキエル書、黙示録のほとんど。）  
読み方：ここで語られるイメージや数字は、ほとんどの場合、聖書の他の部分ではっきりと説明されている。黙示録で書かれていることは、あくまでも、これらのことの象徴だということを入念に入れてから読む。

## B. 文脈について考えましょう

---

**Dig into the text and the context to recognize what the writer intended to say.**

---

あなたは自分の言葉が、自分が意図した文脈と全く違う形で、他人に引用された経験はありませんか？聖書でも、同じことがよく起こります。ですから、聖書のまことの著者である **神が、本当は何を言いたかった**

のかを理解するためには、文脈を正しく理解する必要があります。

## 具体的なメッセージの文脈（ごく近い部分の文脈）

読んでいる聖句の直前・直後の流れと、その聖句が聖書全体のどこに位置するのかを理解するのは、とても大切です。自分が読んでいる節の前と後ろの章を読むと、その出来事や教えについて理解することができるようになりますでしょう。

また、自分が読んでいる内容を、聖書の登場人物の立場になって聞いてみることも試してみてください。ある御言葉は「説明文」であり、単に何が起こったかを説明するだけです。一方、ある御言葉は、私たちに規範を与えるために書かれているため、現代の私たちにも適用できます。

---

**Some passages are descriptive. Other passages are prescriptive**

---

このように文脈を理解することによって、説明文なのか規範的な文なのか判断しやすくなります。

## 聖書全体の文脈（広範囲の文脈）

聖書には全編を通して統一したメッセージがあります。そのたったひとつのメッセージが、聖書のすべての部分の裏にある大きな文脈となるのです。

今自分が読んでいる箇所が、聖書全体のメッセージの中に、どのように当てはまるのかを理解するのは、とても大切です。聖書は、なぜすべての人

---

**The whole Bible is the context for each part of its message**

---

間に救い主が必要で、イエスがどのようにして、私たちを救い出したのかを理解できるよう、私たちが導いています。イエスは「あなたがたは、聖書の中に永遠のいのちがあると思うので、聖書を調べています。その聖書が、わたしについて証言しているのです」（ヨハネの福音書5章39節）と言いました。

## C. 御言葉によって御言葉を理解する

時々、聖書に書かれていることが、矛盾しているように思える時があります。このような時に忘れてはならないのは、聖書を読むときの3つ目の原則である「御言葉を御言葉によって理解する」ということです。聖書のみが、聖書を解き明かすことができます。そして聖書のみ

が私たちの信仰の礎（いしずえ）です。ぜひ、神ご自身の言葉でその説明を聞こうではありませんか。

聖書を読んでいると、理解するのが難しいと感じた内容が、別の箇所を読むとはっきりと理解できる、ということがよく起こります。ですから、すべてのなぞや神祕が一瞬で明らかになるとは思わないでください。その代わりに、**内容がはっきりと書かれた聖句を手掛かりにしな**  
**がら、より難しい聖句を解釈する**ようにしましょう。聖書の別の部分

---

**Let clearer passages  
interpret more  
difficult ones**

---

を学ぶにつれて、他の部分がはっきりと理解できるようになるまで、あせらず時間をかけましょう。このようにして読むと、聖書には矛盾が一つもない事が分かります。

## 助けを求めましょう

それでもまだ分からないことがたくさんある時は、どうしたらよいでしょうか。そんな時には、次の選択肢があります。

- a. **内容がはっきりしてくるまで待つ。** 学校に通っている子どもたちが段階的に学ぶのと同様に、私たちの理解は知っていることの上に積み重なる形で深まります。忍耐しましょう。
- b. **信頼できる誰かに質問する。** 聖書について質問できる知り合いや、聖書研究グループはありますか？
- c. **良い解説書を探す。** 信頼できる著者が書いた解説書を探すこともおすすめします。あなたに合う解説書はどれかを、信頼できるクリスチャンに聞いてみましょう。

何よりも大切なのは、聖霊に助けを求めて祈ることです。神は御言葉を通して、あなたの人生に素晴らしい救いの道を用意しています。このことに感謝しながら聖書を読むことができるよう、聖霊に願いましょう。

この冊子をお読みになり、聖書や  
キリスト教にもっと興味をお持ち  
になった方、質問のある方、ま  
た、さらに聖書を学ぶ教材を希望  
される方は、次のページに書かれ  
たお近くの教会にお問い合わせく  
ださい。私たちは、喜んであなた  
とご一緒に学びたいと願っており  
ます。

## ルーテル福音キリスト教会 (LECC) 一覧

### 東京 あがないルーテル福音キリスト教会

毎週日曜日 午前 10:15～礼拝・聖書研究会 〒203-0052 東京都東久留米市幸町 3-2-17 TEL: 042-471-1855 URL: tokyoaganai.com  
牧師 仲本大輔 (なかもと だいすけ)

### 茨城 めぐみルーテル福音キリスト教会

毎週日曜日 午前 10:15～礼拝・聖書研究会 〒310-0905 水戸市石川 1-4022-3 TEL/FAX: 029-251-5204 URL: kaminomegumi.net  
E-mail: hagalecc@hotmail.com 牧師 芳賀 弥男 (はが みつお)

### 茨城 のぞみルーテル福音キリスト教会

毎週日曜日 午後 3:30～礼拝・聖書研究会 〒300-0823 土浦市小松 3-23-27 TEL/Mobile: 029-821-3578/090-1214-5052 E-mail: leccty@gmail.com 牧師 吉田 忠 (よしだ ただし)

### 千葉 ともしびルーテル福音キリスト教会

毎週日曜日 午前 10:30～礼拝・聖書研究会 〒285-0858 佐倉市ユーカリが丘 1-34-5 TEL/Mobile: 043-461-5890/090-1214-5052  
E-mail: leccty@gmail.com 牧師 吉田 忠 (よしだ ただし)

### 栃木 みひかりルーテル福音キリスト教会

毎週日曜日 午後 3:00～礼拝 〒321-0138 宇都宮市兵庫塚 3-29-6  
TEL : 028-653-6353 E-mail: peace-light@ac.auone-net.jp  
牧師 仁平 武志 (にだいら たけし)

### 栃木 へいあんルーテル福音キリスト教会

毎週日曜日 午前 10:30～礼拝 〒326-0846 足利市山下町 4-2411-3  
TEL: 028-463-0945 E-mail: peace-light@ac.auone-net.jp  
牧師 仁平 武志 (にだいら たけし)